

ひめやくっうしん

No.26 2024年6月



* 会長挨拶 *

この度、第10回定時総会において会長指名を受けました、泉 憲政です。7期14年にわたり、この一般社団法人姫路薬剤師会の舵取りをしていただいた浦上文男前会長には、本当にお礼申し上げます。浦上前会長は、様々な功績を残されました。姫路薬剤師会の法人化、姫路市救急医療協会との業務委託を契約し、また新型コロナウイルス感染拡大における抗原検査キットの無料配布事業、ワクチン接種体制づくり、三師会の開催、近々にはにぶの薬局の会営薬局化と様々な事業を行い、姫路市医師会、姫路市歯科医師会と同じ立ち位置で話ができて、姫路市、姫路市教育委員会、行政、保健所とも協力関係を結ぶことができました。

総会後の懇親会では、現職の官僚である松本剛明総務大臣、前文部科学大臣の末松信介参議院議員、前環境大臣・内閣府特命担当大臣の山口壯衆議院議員、加田裕之参議院議員、そして清元秀泰姫路市長、笠井秀一兵庫県薬剤師会長、國部伸也姫路市医師会長、段充姫路市歯科医師会長、連盟で推薦しています水田裕一郎・北野 実・戸井田祐輔県議会議員に竹中隆一・石堂大輔姫路市議会議員、増田智先姫路獨協大学薬学部部長、濱中努県病院薬剤師会西播支部長等の多くの来賓をお招きして無事終えることができました。総会並びに懇親会にご参加いただいた会員の皆様ありがとうございました。

少し経歴をお話ししますと、生まれは徳島県鳴門市で、大学院を修了後、平成11年に姫路でチェーン薬局に務め、平成19年に独立開業をしました。平成18年より姫路薬剤師会の理事になり、平成21年より副会長に就任しました。18年間姫路薬剤師会の会務運営に携わってきました。これまでは、情報広報部で薬剤師会ホームページを使っている市民・会員への情報公開をし、特別事業部ではくすりと健康の週間でイベントを運営し、姫路市休日・夜間急病センターの薬剤部の責任者として、災害公衆衛生部では会員の災害公衆衛生に対する意識、災害に対する備えを準備してきました。また、2016年4月熊本地震、2019年7月西日本豪雨（岡山県倉敷市真備町）、2024年1月能登半島地震で災害支援薬剤師として支援活動に参加しました。

現在、我々の業界は2025年2030年と超高齢化社会を迎えようとしています。一般用医薬品の使用、健康管理、薬剤服薬指導、在宅医療と様々な対応を求められています。健康な人から疾病に罹患している人、その家族まで、薬剤師として、市民や患者に最善を尽くす姿を見せていきたいと思いをします。

また、災害に強い姫路市を作るために協力していきたいと思いをします。

これまでの執行部に加え、新任の役員・監事を迎え、事業部毎に委嘱いたしました委員の先生方と併せて当会の事業を行ってまいりますので、会員の先生方のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 姫路薬剤師会 会長 泉 憲政



* 総務部 *

- * 担当副会長：関 悠吾(事務局長)、西岡健二
- * 担当理事：八藤賢市、松岡洋平、安田幸一
- * 事務局：船引里香、横山朝美

総務部では、薬剤師会業務の庶務、予算管理、人事管理、表彰業務等を行っております。

まず庶務ですが、法人としての各種規則・書式の点検・整備を行い、社会の要請に合わせて、雇用調整への対応、就業規則の見直しや、書式の更新を行います。

予算管理ですが、各部の事業が円滑に行えるように、収支を常に把握し、予算が正しく使用できるように的確な収支の管理に努めます。また、(株)ヒメヤクの収支・支出の確認を行い、予算・決算に連動させてまいります。

人事管理におきましては、本部職員及びFAXコーナー職員に対し、雇用者として求められることを誠意をもって、対応します。

表彰関連では、みなさまの今迄の活動を明らかにするものですので、漏れなく管理致します。

一般・会員からの苦情相談がありましたら、真摯に迅速に対応するとともに、会員への現状報告、関係機関との調整・連絡を行います。

また、会費・処方せん送信料に関する適正な管理と請求に努めます。会費・処方せん送信料における請求側・支払い側双方の業務負担が減るようにしていきます。令和6年4月よりインボイス制度の課税事業者として登録を行いました。6月9日に開催しました姫路薬剤師会定時総会では、インボイス制度に伴う処方せん送信料の消費税分増額の上程があり審議のち議決されました。変更は下記のとおりです。

【処方せん送信料】

兵庫県薬剤師会会員薬局 処方箋 | 送信 メール電送 90円 → 99円(税 9円)
FAX送信 120円 → 132円(税 12円)
会員外薬局 処方箋 | 送信 FAX送信 150円 → 220円(税 20円)

併せて名誉会長・顧問・相談役の定款追加が上程され、議決のち定款変更となりました。

本総会で退任された浦上前会長が姫路薬剤師会の名誉会長として議決されましたので報告いたします。

以上、積極果敢に事業を展開します。

関 悠吾

災害公衆衛生部 *

- 担当副会長：関 悠吾
- 担当理事：八木 智、爲則利之、高木悟司

今年元旦に能登半島地震が発生、次いで地震に関連した羽田空港衝突事故もあり心の痛む年始となり

ました。姫路薬剤師会からは発災直後～慢性移行期までを通して穴水町・珠州市へ医療支援活動に向かうことができました。支援をふまえて、県内市内で災害が起こった際に対応ができる薬剤師の育成や、活動レベルの維持向上の必要性を感じています。

兵庫県薬剤師会では災害時に薬剤師を派遣する場合、災害支援薬剤師を中心に計画を立てていきます。定期的に研修会が企画されていますので、是非参加いただき、兵庫県災害支援薬剤師の登録をお願いいたします。災害時には災害支援薬剤師として協力できる体制をとり、市民や要救助者の支援に入ってもらいたいと思います。下記 URL より是非ご登録ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S41145492/>



自身の薬局や従業員等の身を守れるように、そして地域の医療を守り、すぐに再建できるように日頃から災害に対応できる強い薬局づくりを整備していきましょう。

災害にかかわる活動・研修として、

- 人工呼吸や AED の一次救命処置(basic life support)を行う薬剤師緊急対応スキルアップ研修会
 - PhDLS(災害薬事研修コース)研修
 - 災害支援薬剤師養成研修、
 - 姫路市情報処理訓練（姫路ロジスティクス研修会）
- 中播磨県民センター・姫路市保健所・姫路市医師会・姫路市歯科医師会・神崎郡医師会・神崎郡歯科医師会・西播支部看護協会・姫路薬剤師会共催
- 兵庫県薬剤師会・姫路薬剤師会 災害時情報伝達訓練



を予定しております。日程等決まりましたら都度お知らせしますのでご参加ご協力宜しくお願い致します。

薬局における BCP 作成と整備におきまして、ご存知の通り、介護報酬改定では感染症や災害、虐待への対応力強化において、居宅療養管理指導を行う薬局の BCP 作成が義務化されております。この先、薬局も他サービス機関との連携を構築するため、提出が求められるケースも出てくると思われます。また、調剤報酬改定においては連携強化加算で災害時の対応マニュアルが必要となっています。

兵庫県薬剤師会のホームページに兵庫県薬剤師会版 BCP シート（災害対策編・感染症対策編）を県薬ホームページ会員のページにアップしていますので BCP 策定がまだの会員薬局においてはご参考ください。

また、災害時の安否確認システムの導入と運用（会員情報の電子化）を検討しております。

現状の安否確認はアンケートフォームを利用しており、事務局か担当理事がいないと集計ができません。自動で集計ができかつ、地図に薬局の情報がマッピングできるシステムを構築できるシステムを導入運用検討していきます。

最後に薬学実務実習生に対する災害薬事研修会を年 3 回、場所は姫路駅前じばさんビルで行いますので実習生を受入している薬局は是非ご参加ください。

以上、積極果敢に事業を展開します。

関 悠吾

* 研修部 *

担当副会長：深見達也

担当理事：田中定幸、勝間由美子、松田康弘、八木 智、田路隆了

担当委員：西本悦子

研修部は令和 6 年度の定時総会により新メンバーとなりました。引き続き皆様にとっていい研修会になるよう努力して存じます。

研修部は、通常姫路薬剤師会主催の定例研修会の充実と、病院薬剤師会西播支部と姫路獨協大学薬学部との共催で行う西播・姫路医療セミナー及びその他研修会に積極的に参加、協力して情報を収集し、フレッシュな演題の研修会の開催を目標としています。

昨年度から WEB 開催を実施しております。

出来る限り会員の皆様に納得していただけるよう運用面におきまして努力してまいります。

深見達也

* 学校薬剤師部 *

担当副会長：深見達也、西岡健二

担当理事：勝間由美子、爲則利之

代表委員：成山恵美、山内康子、西本悦子、富井新也、朝治広貴

令和 6 年度は学校薬剤師部の副会長深見と西岡で担当させていただきます。今年度は、代表委員に新たなメンバーが加わり 9 人で活動していきます。

新型コロナウイルス感染症が昨年 5 月より 2 類から 5 類に変更となりより再開された検査もありました。今年度は 5 年ぶりとなる令和になって初めての懇親会実施の報告会を開催することができました。昨年度は感染症対策に関する新たな対応について学校薬剤師として専門的見地から正しい情報を展開し、学校への助言等で活躍されましたことに感謝し御礼申し上げます。今年度も厚生労働省、日本薬剤師会、兵庫県薬剤師会からの新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理等について情報提供を迅速に学校薬剤師へ配信いたします。その情報を元に各学校薬剤師が担当校と連携を一層強化し、環境衛生の向上のために指導助言をしていただきたいと思います。

学校薬剤師は、学校長より任命された非常勤嘱託職員で、公立校では教育委員会から委嘱され公務員の一員となります。また私立校・認定こども園では学校の理事会等から委嘱されます。学校保健安全法という法律に基づき、各地区薬剤師会が各市町村教育委員会への推薦を行っています。学校内の水道水やプールの水質、教室内の空気の汚れ、給食用設備の衛生などを定期的に測定・検査をする。これは、子供たちが安全快適に過ごせるよう学校の環境衛生を維持・改善する指導・助言が主な職務です。今年度



からは一層、学校薬剤師の健康相談、保健指導、くすりの正しい使い方の講義、薬物乱用防止の講義活動に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。また、2年前から公立小学校の夏季期間中の給食室点検や養護教諭対象向けの研修に関わっております。今期もこれに向けて適切に努めたいと思ひます。

私立認定こども園に学校薬剤師の配置もあり、年々学校薬剤師の活躍する場が増えております。約250校の学校施設を姫路薬剤師会学校薬剤師部の110名の学校薬剤師が担当しております。1人1校の大目標がございます。

本年度は新たに7名の先生が学校薬剤師部に入部いただき学校薬剤師として活躍されています。引き続き状況に応じて11月頃に新規会員募集を行いますので、興味があり、やってみたいという先生はご応募ください。宜しくお願ひ致します。

深見達也

* 情報・広報部 *

担当副会長：深見達也

担当理事：為則利之、松田康弘

担当委員：三木智弘

令和6年度から担当させていただきます副会長の深見です。わからないことも多いですが、新しいメンバーでやっていきますのでよろしくお願い致します。

ホームページを中心に研修会や行政からの事務連絡等の伝達と更新を行います。定期的にホームページを確認してください。また、災害時の被災状況報告、安否確認ができるように、ホームページのトップに載せていますので確認しておいてください。様々な情報をメールで送信していきます。受け取れる環境にして下さい。また、姫路薬剤師会のWEB通信ツール等の拡充も図ります。

姫路薬剤師会のホームページのログイン

ID と Password を令和6年7月1日より変更となります。

システムの安全確保のため定期的に変更を行っています。注意して下さい。

ID: himeph2024 Password: himeph2024

ログインを5回連続間違うとロックがかかります。

15分以上たってから再度ログインしてください。

薬剤師会からの情報をFAX送信からメール送信へ移行しています。コスト削減と情報送信の効率化を行いますのでご協力よろしくお願い致します。薬剤師会からの情報送信サービスをご利用される薬局は薬局のメールアドレスの登録を必ず行って下さい。

薬局：メール受信の設定

<https://ssl.formman.com/t/w8SI/>

個人：携帯電話やパソコンへのメール受信設定を希望の方

<https://ssl.formman.com/t/r909/>



土曜・日曜・休日・深夜帯の情報伝達ツールのご案内

姫路薬剤師会の事務局が閉局している時間帯に訃報や緊急連絡を行いたい場合、情報広報部にてFAXを受け付けることができるようになりました。薬剤師会会員や会員のご家族また、近隣医院の情報をFAXでご連絡ください。上記以外で通常連絡のFAXは使用しないでください。

緊急時・訃報等の土曜・日曜・休日・深夜帯 FAX 079-263-8888

深見達也

* 医療保険部 *

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：杉本香織、八藤賢市、松田康弘、田路隆了

今回の調剤報酬改定のポイントは、

- ・地域の医薬品供給拠点としての役割を発揮するための体制評価の見直し
- ・質の高い在宅業務の推進
- ・かかりつけ機能を発揮して患者に最適な薬学的管理を行うための薬局・薬剤師業務の評価の見直しであり、今まで以上に薬剤師の対人業務に対する評価の拡充を目的とした評価体系の見直しや新設があり、患者や地域に寄り添った薬局や薬剤師が求められていることがわかります。

医療保険部では、保険薬局・保険薬剤師のさらなる職域の拡大・適正な評価と正当な調剤報酬の獲得をスローガンに、情報を収集し、指定後講習会等で情報提供していきます。

保険調剤に関する法令・法規への知識を深めていただき、「求められる保険薬局・保険薬剤師」として適正かつ正当で最大限の評価を得られるよう講習会の内容を更新していきます。

兵庫県薬剤師会主催の「保険薬局・保険薬剤師伝達講習会」は

7月13日に姫路商工会議所本館501ホールにて開催されます。今月号の兵薬

界に申込用紙がありますので、まだの方は姫路薬剤師会にFAXしてください。

また姫路薬剤師会主催の「指定後講習会」も秋以降に開催いたしますので、是非、積極的にご参加いただき、参加された薬剤師の方々の保険調剤業務の一助としていただければ幸いです。

保険調剤業務に関する質問も随時受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。

藤原 昭



* 編集・文化部 *

担当副会長：藤原 昭

担当理事：田中定幸、高木悟司

編集・文化部は会員の親睦を深めるための活動を行っています。

1. ひめやく通信の発行
2. 会員の親睦を深めるためのイベントの開催(ゴルフコンペ、バス旅行等)
現在、美味しい楽しいをモットーにプランを練っております。
10月開催を予定しています。
3. あゆみの編集(総務部と共同)
総務部と共同で姫路薬剤師会の歴史を綴ります。



藤原 昭

* 特別事業部 *

担当副会長：藤原 昭、関 悠吾

担当理事：田中定幸、森保貴典

特別事業部の活動の主になるところは休日夜間急病センターでの委託業務活動です。市民に対して薬局外での姫路薬剤師会としての調剤・服薬業務活動となります。

地域に貢献する活動を中心に薬剤師職能のアピールを行っていきます。また、地域連携薬局や健康サポート薬局といった専門性をもった、患者に選ばれる薬局を目指しサポートを行っていきます。

1) くすりと健康の週間

今期もくすりと健康の週間のイベントを開催する予定です。毎年好評の「こども薬局」や「サイエンスショー」をはじめ、様々なブースで市民の健康意識を高める活動をしています。

地域支援活動の認定書を発行しておりますので、たくさんの先生方のご協力よろしくお願いたします。

開催日：令和6年11月17日(日曜日)

場 所：花の北市民広場



2) 姫路市休日・夜間急病センター(姫路市救急医療協会からの委託業務)

出務者のシフト調整・予算要望・新規出務希望者募集・医薬品在庫管理 24 時間待機電話・実務実習生の受け入れ・感染予防対策等を行っています。

出務希望者の面談は随時行っていますので薬剤師会事務局までお問い合わせください。

3) 広域病院処方箋送信事業

処方箋送信事業の継続管理及び処方箋送信コーナーの運営管理をしています。

4) その他 他部会のサポートをします。

藤原 昭

*** 薬学教育部 ***

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：勝間由美子、杉本香織、安田幸一、松岡洋平

担 当 委 員：安福良太

薬学教育部では、兵庫県薬剤師会と病院薬局実務実習近畿地区調整機構の主導のもと、実務実習受入施設の整備強化として実習生のマッチング（トラブル発生時の対応等含）・病薬連携整備（グループ化）・モデルコアカリキュラムへの対応を行います。はりま姫路総合医療センター開院から2年が経ち実習受入体制も整い、学生の病院実習受入人数も増えましたので、それに伴い実習受入薬局も多数必要となっております。毎年4月頃に来年度の実習受入調査を兵庫県薬剤師会が行っておりますので、調査の際には積極的な実習受入の手挙げを宜しくお願い致します。新規に実務実習指導薬剤師を取得したい場合は、ワークショップの参加が必要となりますので、実習受入調査内にワークショップ参加を要望として記入してください。実務実習指導薬剤師の免許の有効期間確認と、必要に応じて免許更新の対応も早めをお願いします。

つぎに、認定実務実習指導薬剤師更新講習会の案内や支部でのグループ協議会の開催、指導薬剤師へのアドバンスワークショップの参加を促し、変革期に対応できる環境整備を行います。

6年制カリキュラムへの対応として、各薬科大学早期体験学習対応、OSCE 評価者、事前学習への講師派遣の協力を行います。例年、姫路獨協大学コミュニティーファーマシー論では、薬学部の1回生向けに90分の講義を行っていましたが、学校方針により来年度から1回生の入学が無くなりますので今年度をもって終了となります。大変残念な事ですが、在校生への実習・カリキュラムへの依頼がありましたら引き続き協力していきます。

最後に指導薬剤師の研鑽として、各学会大会への参加・薬薬連携にかかわる会議や研修会への参加にも積極的に取り組んでまいります。



池口由美

* 薬局経営部 *

担当副会長：池口由美、西岡健二

担当理事：森保貴典、八木 智、高木悟司

薬局経営部は、薬業連携の中で各病院と交流を図り、病院⇄薬局間での課題の抽出や課題解決、情報共有等について 4 病院（兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院・姫路医療センター・姫路赤十字病院）に担当理事を配置し、連携に支障がでないよう、役員が担当病院と交流を図り、課題解決や相談応需・当会からの提案等を行うなどの個別対応に従事し対応しています。

中でも令和 5 年度は、兵庫県病院薬剤師会西播支部との薬業連携会議を 3 回/年開催し、医療用医薬品の出荷停止、出荷調整による保険薬局への多大な影響・苦境について医療機関に訴え、柔軟な対応を頂くよう依頼を継続し、電子処方箋やリフィル処方箋等への対応について情報共有してきました。

今後は少子高齢化に伴い外来患者数は減少傾向をたどります。

病院薬剤師との連携を強化し、「家 時々 入院」が進み、住み慣れた自宅（施設含む）で最期を迎えることができる地域住民の方々が増える社会状況の中で、「病院薬剤師⇄薬局薬剤師」の連携を強固なものにして、より安心して退院 自宅療養できる環境づくりが必要と考え、昨年度は合同研修会も開催しました。

「薬局薬剤師⇄病院薬剤師」間の情報提供・情報収集・情報共有・疑義照会にハードルや経験不足を感じている、比較的経験の浅い薬剤師を対象に参加型研修会を行い、問題解決を図ろうと開催した本研修会は参加者に好評価を頂きました。本年度は、西播病院薬剤師会と合同研修会を継続してバージョンアップして開催できるよう協議していきます。

本年度も薬業連携会議を開催し、闊達な意見交換を実施して、薬局と病院薬剤部に関わる部分での多職種連携・認知症患者への連携したフォロー体制の構築や課題解決等について検討して行きます。

また、姫路市生活援護局と協力して行っている、生活援護室における服薬管理指導業務委託事業を継続し、生活保護受給者への訪問服薬管理指導の中で、後発医薬品の使用促進・生活困窮者への受診勧奨・特定検診等の検査受診の啓発等の支援を継続して行います。

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築・リスト化および周知等については、今後の情勢を随時確認し、医療保険部・地域医療部・特別事業部と連携し対応して参ります。

地域住民からのご意見や情報提供に対しては、真摯な対応を継続し、会員薬局に速やかに情報提供していきます。

担当役員全員で、頑張っていきます。本年度もよろしくごお願い申し上げます。

池口由美



* 地域医療部 *

担当副会長：池口由美、関 悠吾

担当理事：杉本香織、森保貴典、安田幸一、松岡洋平、田路隆了

担当委員：永谷仁子

地域医療部は、2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・地域介護・予防・生活支援が一体的に提供される包括ケアシステムの深化への支援に従事してきました。2025年を来年に控え、より密度の高い活動が求められている部署といえます。さらに、団塊の世代が後期高齢者のピークを迎える2040年、2050年問題に向けて同システムの深化のため、各団体との連携会議に出席し、積極的に連携を推進し訪問指導へ、薬剤師の地域支援領域の拡大へ繋げていくことと、健康サポート薬局や各連携薬局への支援事業推進を目標に活動を継続しています。

今後は少子高齢化に伴い外来の患者数は減少します。

薬局薬剤師は、今より一層、在宅で療養されている方やそのご家族を含めた支援者に対する支援やサービスを充実して、地域のかげがえのない資源として活躍していかなければなりません。

本年度も引続き、行政・多職種主催の研修会・事例検討会・情報交換会等についてご案内致します。積極的に参加いただき、連携しやすい環境づくりにお役立て下さい。

また、入退院時に切れ目のない医療と介護の提供がよりスムーズに行えるよう、昨年度に引き続き姫路市地域連携室協議会との合同研修会、在宅実践研修会を開催します。中播磨訪問看護ステーション合同研修会もオールフレイルを含めたフレイル予防関連について企画しています。他の医療職・介護職の方々と情報交換ができる参加型研修会の形式で開催します。ぜひ積極的に参加し、「情報交換」「顔の見える化」にお役立て下さい。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わらせるかなどの薬剤師職能をアピールしていくことに加え、より連携しやすい環境を整えるべく活動し、機能別認定薬局・健康サポート薬局への支援に注力するとともに、薬剤師に対するニーズ・薬剤師の活躍の場等についての情報を収集し、会員様に研修会内で配信していきます。

本年度も、姫路市 後期高齢者医療保険課の事業への協力事業として通いの場の充実のため、高齢者の通いの場へ、薬剤師を講師として派遣する事業を継続していきます。姫路保健所主催の高齢者の集いの場への講師募集も加えてご案内させていただきますので、講師として地域活動へご参加下さい。

姫路在宅訪問薬局リスト令和7年度版を作成します。掲載内容を検証し、より活用頂けるリストに仕上げ、医療機関をはじめとした関係各所・事業所に薬局・薬剤師の地域への支援の紹介とともに、リストの有効活用を啓発しながら配布していきます。リストに登録されている薬局は、できる限り訪問管理を実施下さいますようお願い申し上げます。



「健康サポート薬局に対応するための支援事業」では、健康サポート薬局研修A・Bとも姫路開催を支援します。ニーズが多くなってきているママパパサポート活動への支援もオンライン開始も視野に入れ実現できるよう活動していきます。ママサポート認定薬剤師の皆様、是非積極的にご活躍下さい。

昨年度に引き続き、やらなければいけないことが盛りだくさんですが、役員を増員し、一丸となって頑張っていきます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

* 神崎郡担当 *

担当副会長：池口由美

担当理事：八藤賢市

担当委員：住谷庸子



神崎郡圏域の、地域医療部関連の業務を継続して行って参ります。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わり合えるかなどの薬剤師職能をアピールしております。多職種が集う研修会、事例検討会の情報を随時配信していますので、積極的にご参加いただき、地域医療参入の第一歩として、また活動領域拡大のための手段としてお役に立ててください。

訪問薬局リストを中播磨健康福祉事務所に配布しております。訪問管理の依頼があった際には、できる限り実施下さいますようお願いいたします。

また、高齢者の方々が参加する「通いの場」や多職種参加型の研修会での講師派遣や、他職種のスキルアップ研修会に講師として出講しています。ご案内させていただいた際には、積極的に手を上げて頂き、地域活動へご参加ください。

担当役員一同 今年も頑張っています。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

* 薬剤師連盟 *

姫路薬剤師連盟：会長 泉 憲政

幹事長 関 悠吾

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：支部長 杉本香織

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：班長 泉 憲政、池口由美、深見達也、関 悠吾、藤原 昭、西岡健二、田中定幸、杉本香織、森保貴典、八藤賢市、安田幸一、松田康弘、勝間由美子、爲則利之、八木 智、松岡洋平、高木悟司、田路隆了

薬剤師連盟は、薬剤師及び会員の生活向上、地位保全のために国、地方自治体に意見を陳情してもらえる議員を応援し、選挙時には、その議員の支援にまわります。

今年は診療報酬（調剤報酬）・介護報酬・障害福祉サービス等の報酬のトリプル改定が行われました。今回の改定では、地域支援体制加算等の減算や新設も含む調剤報酬各項目の算定要件ハードルがあがるなど薬剤師を取り巻く環境はより一層厳しいものとなりました。その改定内容や趣旨が日々の薬剤師業務に十分反映されているかどうか注視し、現場での改善点や要望があれば国政や地方自治体に声を上げていく必要があります。咳止めをはじめ未だに慢性的な医薬品供給不足は解消せず、多くの薬局が処方医薬品の調達に苦慮されている状況かと存じます。こうした状況を少しでも解消するために薬剤師の代表である本田あきこ先生・神谷まさゆき先生が2人体制で国政にて獅子奮迅の勢いで活動されています。一致団結、後押しするよう姫路薬剤師連盟からも一層活発に声を上げていきましょう。



来年夏には第27回参議院議員選挙が予定されており、8月以降となりますが会員みなさまの薬局へ班長がご挨拶・後援活動にお伺いします。その際には連盟活動への御理解・御賛同を、何卒宜しくお願い致します。

かがやけ **み**らいの **や**くぎょうかい をキャッチフレーズに

現場の薬剤師の声をさらに政界へ届けるために **神谷まさゆき**先生を、

あいと **き**ぼうにあふれた、**こ**れからの医療と薬剤師を目指す **本田あきこ**先生が

直往邁進に活動ができるよう兵庫県・姫路エリアをあげて2人の後援活動の強化に努めたいと思います。

B会員で連盟会費を未納の先生、また、**薬剤師連盟に未加入の先生**におかれましては、薬剤師職能の維持・向上のためにも、どうか連盟会費をご入金・**連盟にご入会くださいましたら**幸いです。このことも御一考の程、よろしくお願いいたします。

幹事長 関 悠吾



吉田初三郎 観光の姫路市 = Bird's eye view of Himeji